



2025 年度 奨励研究 募集要項

特定非営利活動法人 非営利・協同総合研究所いのちとくらし

1. 目的

本奨励研究の目的は、以下に関わる実践や調査・研究を支援することである。

- ① 医療・福祉の施策や制度について
- ② 新自由主義と市場経済論について
- ③ 非営利・協同セクターの実践・理論研究

2. 対象

研究者（応募時に概ね 40 歳未満）及び実務者（年齢不問）で、「非営利・協同」や「いのちとくらし」に関する調査・研究の成果（1 万字程度）を 2 年以内に『いのちとくらし研究所報』などへ投稿できる個人。会員かどうかは問わないが、採用された場合には入会できる者（団体会員の職員も対象を含む）。

3. 助成金額

1 件 10 万円以内（大学等の間接経費・オーバーヘッドは認めない）

4. 応募方法

所定の「奨励研究申請書」「奨励研究交付申請書」の 2 枚を、下記事務局宛に郵送で提出のこと。別紙の追加は認めない。また応募書類は原則として返却しない。

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-7-8-2F 非営利・協同総合研究所いのちとくらし
（電話：03-5840-6567、FAX：03-5840-6568、電子メール：inoci@inhcc.org）

5. 申し込み期限

通年

6. 選考結果の通知と助成金の交付

研究助成審査に準じて選考を行い、理事会で決定する。

申請者宛に受付後 2 ヶ月程度で通知（審査内容は公表しない）および助成金の交付を行う。

7. 研究成果の発表

研究成果は、原則として申請日より 2 年以内に研究所の機関誌『いのちとくらし研究所報』またはその他の方法によって公表すること。研究成果を学会誌等に掲載する場合、「非営利・協同総合研究所いのちとくらし」から奨励研究として助成を受けている旨を、必ずその文末等に付記し、発表後その現物あるいは複写物を研究所に送付すること。

また、研究所と相談の上、機関誌とは別途に報告書を作成することもある。データベースを作成する場合は、公開 URL を研究所ウェブサイトへリンクすること。

8. 助成金の返還

連絡なく予定期日を大幅に超えて提出しない場合、原稿内容が申込書の内容と著しく異なる場合、既に発表済みの内容のものを提出した場合、本奨励研究の趣旨にそぐわない場合、その他理事会で検討し必要と判断された場合は、原則として助成金を返還することとなる。

以上

特定非営利活動法人

非営利・協同総合研究所いのちとくらし
2025年度 奨励研究申請書

理事長殿

202 年 月 日

- ・ふりがな
- ・申請者氏名

印

- ・郵便番号
- ・住所

- ・（連絡先が自宅以外の場合）自宅郵便番号
- ・（連絡先が自宅以外の場合）自宅住所

- ・連絡先電話

- ・e-mail

非営利・協同総合研究所いのちとくらしの奨励研究として、下記研究課題について期限までに論文原稿を提出いたします。

1. 題名

2. 希望助成金額 _____ 円

3. 論文原稿提出期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日

4. 振込先

（決定した後でなければ連絡出来ない場合、その旨を記載のこと）

銀行名その他
支店名
種類および口座番号
名義人

特定非営利活動法人 非営利・協同総合研究所いのちとくらし
奨励研究交付申請書（2025 年度）

題名			
申請者氏名 (年齢)	(フリガナ)		応募時の年齢 歳
	(漢字等)		
所属機関・部局			
肩書			
論文原稿提出予定		年	月 日
研究概要			
※研究の概要に関し、①研究目的、②方法、③期待される成果について、簡潔にまとめて記述して下さい。フォントは10.5ptとし、枚数を増やさずに1枚以内に記入してください。			